

チャレンジ工房News

第 24 号

平成 25 年 3 月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

工房の日々・・・

～ 個々の研修風景・・・ ～

「PhotoShop」

先月より、2名の所員さんが本格的に写真などの画像編集ソフト「PhotoShop」の研修に取り組まれています。

PhotoShopは、パソコン中級者・上級者向けの写真加工やロゴデザイン等の画像編集ソフトであるため、Word・Excelのように、初心者でも分かりやすく自主学習に最適なテキストはあまりなく、私も何冊もテキストも買いあさって検討して実際に所員さんに手に取って貰って工房のテキストとして、導入したものの完全に自主学習とはなかなかいかず、私も所員さんたちの横で実際、PhotoShopの勉強をしながら所員さんにレクチャーして研修を進めています。

「レイヤ」や「マスク」とかの今までに聞き覚えがない専門用語に混乱したり、写真の編集加工をするとき、PhotoShopでは加工する部分をマウスなどでドラックして、範囲選択を行なって編集を加えていく細かい作業が多いので、私も含め手が不自由だと、どうしてもマウスでドラック等の操作をしているとき、手先がぶれてしまって、マウスのポインターが、思わぬ位置に行ったりして何度がやり直すなど、各自それぞれ手こずりながら個々のペースでしています。



やり始めたころは、所員さんも何度も「難しい」と言っていました。PhotoShopで実際、ご自身が撮った「薄暗い写真」を明るくしたり、「手ぶれでゆがんでいる写真」を角度補正など思い通りの写真に修正できると「まあ、楽しい!!明るさも手ぶれのゆがみも修正することもできるんや」とテキストで少し難しい操作を要する単元があるものの最近では、お二人とも興味津々にされています。

PhotoShopは、1冊のテキストでは吸収しきれないほどの機能があったり、高度な画像編集ができたりするので、研修段階に応じて「ロゴ作成」、「写真加工」、「デザイン」のより具体的はテキストや教材を揃えていきたいと考えています。

3周年イベントを開催します・・・

早いもので当工房も2012年の春に開所してから、地域の方々、市内の障害関連団体の方々、所員の皆さん、スタッフの家族と本当に色々な方々に支えて頂きながら2年目が過ぎ、来月の4月をもって3年目を迎えようとしています。

つきましては、当工房の3周年を祝い、更なる当工房の発展を願って4月8日、3周年記念イベントを開催しますので、年度初めで何かとご多忙だと思いますが、ご出席頂けますようよろしくお願い申し上げます。

3月の予定

3/2(土) うす潮まつり参加

10:00～13:00

大庄支所駐車場

※うす潮祭りのフリーマーケットにて東北の作業所の物品を販売しました。

3/11(月) 避難訓練

13:00～15:00

※当日は、西消防署より2名の消防士の方に来て頂き、南海地震の津波被害と火災被害を想定して、センタープールの3階以上に避難する訓練と消火訓練を行いました。

4/8(月) 3周年記念イベント

10:00～12:30



祝・就職

この度、めでたく所員のAさんが先月の障害者合同面接会の結果、「K病院の事務員」として採用されることが決まり、4月より就職され新たなスタートをされます。

Aさんは、一般企業などへの社会復帰を目標に、2011年の秋に当工房に入所され、「少しでも早く企業に就職して社会復帰を成し遂げたい」という思いで通所されたら、朝から夕方までほとんど休憩することなく、パソコンに向かわれ、半年間でWord・Excelの基礎・応用の4冊をやり終えられたのち、MOS検定試験の勉強を確実に自分の物にするまで繰り返しされていました。

就職難と言われている現在、特に障害者の就職は厳しく、Aさんも工房に在籍している期間でも何十社と面接を受けていましたが、なかなか採用には至りませんでした。Aさんは、めけることなく「神様が与えてくれた休養」だと前向きにとらえて、採用試験の面接時に少しでも有利になるように、昨年の夏頃からMOS試験の勉強をコツコツされながら求職活動をしておられました。

そんな下向きのAさんの努力や頑張りが「K病院への就職」という形になったのではないかと確信しています。

Aさんは、常に明るく工房にも「笑い」を運んでくれるムードメーカー的な存在だったので、Aさんが工房を巣立ちっていくことは寂しいのですが、Aさんの明るい性格なら「どこの職場に行ってもすぐ周りの環境にも馴染める」と思うので、Aさんの持ち前の明るさで活躍してくれることを期待しています。

工房内避難訓練を行いました・・・

今月の11日、ちょうど東北大震災が起きてから3年目となる日に、近い将来予測されている「東南海地震」の津波地震に備えて「震度5弱の南海地震が発生し、1時間後に尼崎港に6mの津波が押し寄せてくる」という想定で工房附近の市の津波一時避難所に指定されている「センタープールの3階以上」へ当工房から避難する訓練を行いました。



当日は、西消防署より3名の消防士の方、大庄地域で連携しているさつき作業所の2名の職員の方に参加協力を頂き、実際地震等の災害時には「オレンジ」色のパトランプが点灯し、避難場所として開門される工房側の西門から競艇場内に避難し、大地震発生後は停電になってエレベーターも使えなくなる可能性が多いので、私たち車いすに乗っているスタッフを車いすごと3階まで消防署の方やさつき作業所の職員の方4人か



りで階段をかついで上げて貰い避難しました。

順次、自力歩行が可能な所員さんも階段を使って3階まで避難をし、今回は訓練だったので、所員・スタッフともに何一つトラブルもなく落ち着いて避難することができ、工房から約15分程度で避難することができました。

当工房は、スタッフも車いすの障害者であったりして、みんな障害を持っている者ばかりなので、日頃より地域の自治会や近隣の商店・事業所の方々と連携をとり、自然災害等の緊急時に駆けつけて手助けしてもらうなどの支援体制の早期に確立しなければいけないと改めて強く実感しながら工房に戻り、その後消防署の方の指導のもと、消火訓練をしました。

「3.11」の日に南海地震における津波災害を想定したこのような避難訓練を地域の関連機関等の協力体制のもとで行うことができ、とても意義があった訓練を実施することができました。

もしも津波地震が起これば・・・

南海地震は、尼崎市内に震度5弱の大きな揺れと地震発生後110分以内で最大6mの津波が押し寄せてくることが予測されています。

研修中に地震が発生したら、当日通所している所員・スタッフの点呼を速やかに取り、センタープールの西門から避難し、3階に避難する段取りを考えています。

地震は自然による現象でいつ起こるか分らないものなので、所員の皆さんには再度、自宅近くの津波一時避難場所の確認と避難所までの避難経路の確認をお願いします。



市の指定になっている
津波避難ビルの
ステッカー